

2015年4月15日(水)



# 第54期(2015年3月期) 決算説明会

(2014年4月1日～2015年3月31日)

代表取締役社長	最高経営責任者(CEO)	保木 潤一
常務取締役	営業本部長	山本 幸雄
経営企画部	広報課	山下 洋

**HOGY MEDICAL Co., Ltd.**

## 将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

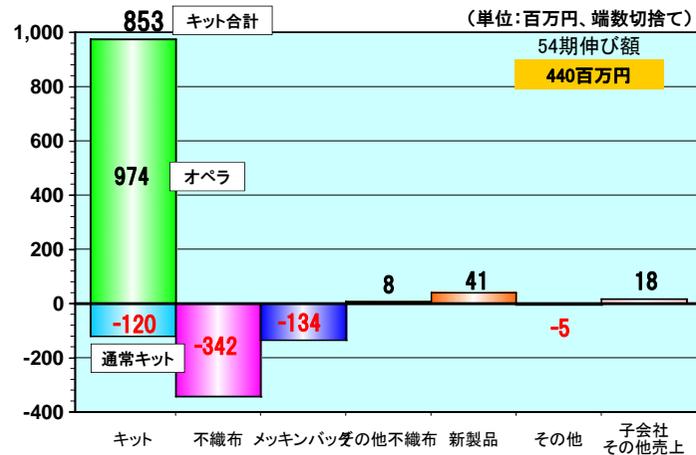
本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

# 業績の概要

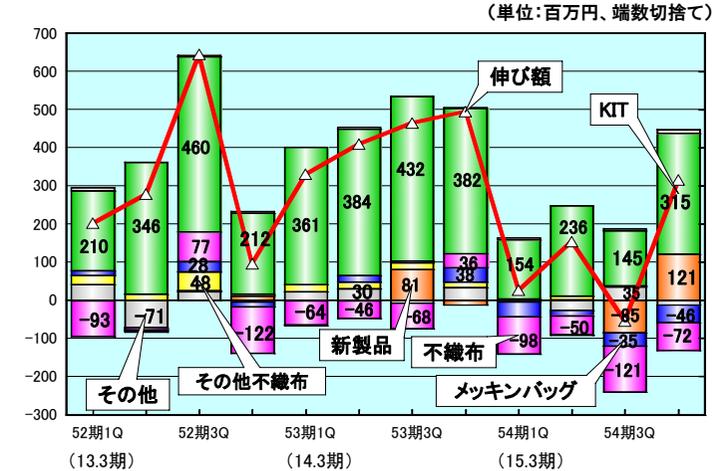
## 第54期(2015年3月期)損益計算書

単位:百万円 切捨て	14.3 53期実績		15.3 54期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	34,793		35,233		440	101.3%
営業利益	8,747	25.1%	8,505	24.1%	△241	97.2%
経常利益	9,055	26.0%	8,768	24.9%	△287	96.8%
当期純利益	5,632	16.2%	5,659	16.1%	26	100.5%
E P S	358.10円		359.81円			

## 第54期(2015年3月期) 主な製品の売上高伸び額



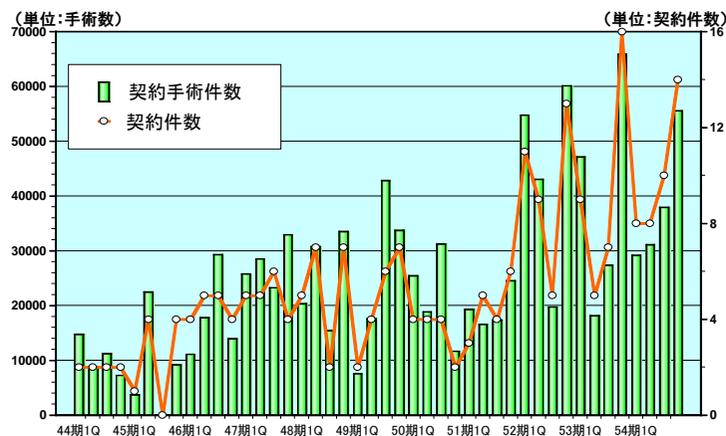
## 第54期(2015年3月期) 四半期別売上高伸び額の内訳



## 第54期(2015年3月期)損益計算書

単位:百万円 切捨て	14.3 53期実績		15.3 54期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	34,793		35,233		440	101.3%
営業利益	8,747	25.1%	8,505	24.1%	△241	97.2%
経常利益	9,055	26.0%	8,768	24.9%	△287	96.8%
当期純利益	5,632	16.2%	5,659	16.1%	26	100.5%
E P S	358.10円		359.81円			

## オペラマスター契約の件数と手術件数推移



\*契約病院数は54期末現在の状況

## 第54期(2015年3月期)ポイント

- 環境の変化に対応が遅れる
- 病院の手術件数動向は変化なし(稼働日による変動はあり)
- オペラマスターは、新規契約数が42件、解約が8件(1Q:10件、2Q:8件、3Q:10件、4Q:14件)
- オペラマスター直近契約施設の立上げ増加
- 円安により原価が上昇(為替予約により影響を軽減)
- 棚卸資産の減損処理

# 今後の戦略と対策

## 第55期(2016年3月期)損益計算書

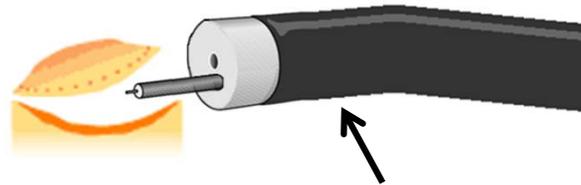
単位:百万円 切捨て	15.3 54期実績		16.3 55期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	35,233		37,100		1,866	105.3%
営業利益	8,505	24.1%	8,290	22.4%	△215	97.5%
経常利益	8,768	24.9%	8,420	22.7%	△348	96.0%
当期純利益	5,659	16.1%	5,500	14.8%	△159	97.2%
E P S	359.81円		349.68円			

## 55期の施策

- 上期「増収増益」、下期「増収減益」計画
- 既存製品と新製品で増収
- DPC病院のⅠ群、Ⅱ群、Ⅲ群上位施設へのオペラマスタ-提案強化
- 新製品の拡販
  - ✓ 営業、開発から選抜し組織
  - ✓ 「新商品の開発、生産、販売を促進」
  - ✓ 「市場ニーズの掘り起こし」
  - ✓ 「製品の顧客満足度」を追求
- プロダクト制度の導入
- 為替の影響や新工場償却による原価の高騰
- 中期的に売上構成を変更
- 新工場建屋の完成
- リニューアルキット製品のテスト運用を開始
- 次世代の柱になる新製品と内製化の開発強化
- P.T.HOGY INDONESIAの生産性改善
  - ✓ 材料の管理から、生産性の改善へ
  - ✓ インドネシア国内の販売強化

## ESD支援デバイスの概要について

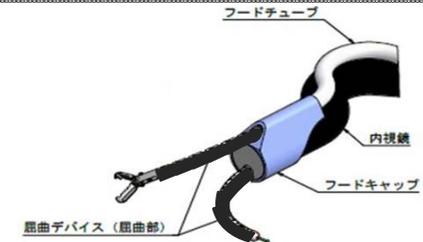
### 市場流通製品 イメージ図



《現在のESD治療の問題点》

- 処置するためにデバイスを動かすと、同時にカメラも動いてしまうため視野の確保ができない
- 処置する部位の固定が確保し難いため、正確で適切な切除操作が難しい

### 新製品 イメージ図



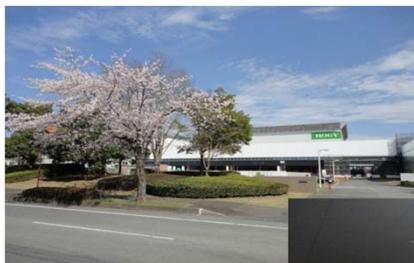
視野と操作が分離されている

視野の確保が可能

屈曲デバイスにより部位を固定しながら剥離することができ、直観的な操作で簡易に操作が可能となる

処置難易度が下がり、処置時間の短縮が可能

## 新工場 進捗状況



## 新工場 減価償却費 計画

	53期 (14.3期)	54期 (15.3期)	55期 (16.3期)	56期 (17.3期)	57期 (18.3期)	58期 (19.3期)	59期 (20.3期)	60期 (21.3期)
建 物	→				稼働開始 →			
生産システム			→					
機械設備		→						
新工場 設備投資金額	5,100	12,681	7,200	4,340	1,470			
新 減価償却費 (新工場のみ)			700	2,420	3,550	3,390	2,850	2,440
旧 減価償却費 (新工場のみ)			1,476	2,624	2,864	2,789	2,518	2,403



# 第54期(2015年3月期) オペラマスター

## オペラマスター進捗状況

**売上高** : 12,359百万円(+974百万円:108.6%)

### 54期契約件数:

新規: 42件(154,800オペ増加)

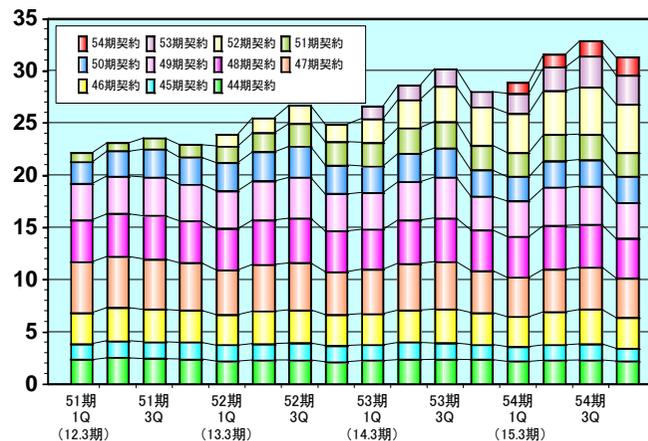
- ・大病院 : 13件
- ・中小病院: 29件

解約: 8件

累計契約件数: 242件

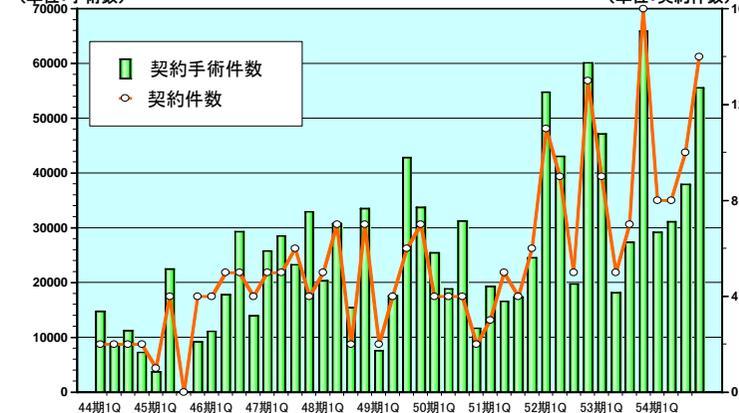
## オペラマスター売上高推移

(単位: 億円、端数切捨て)



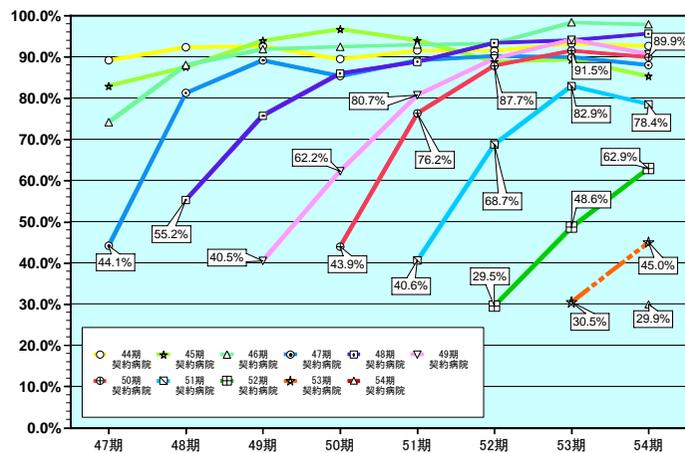
## オペラマスター契約の件数と手術件数推移

(単位: 手術数)

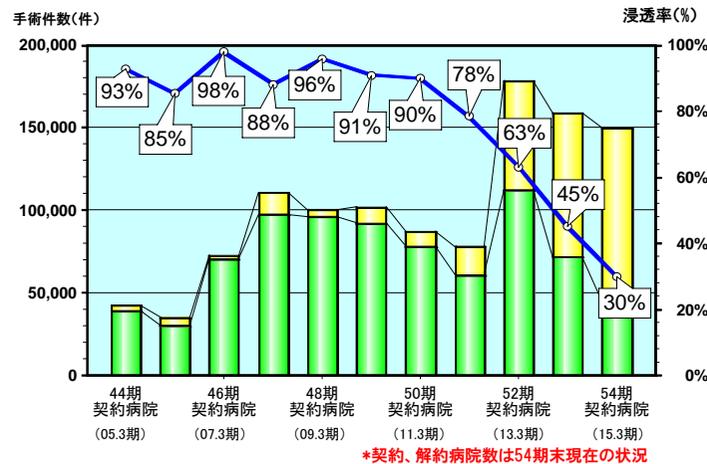


\*契約病院数は54期末現在の状況

### オペラ契約病院 浸透率推移



### オペラマスター浸透率・手術件数(契約期別)



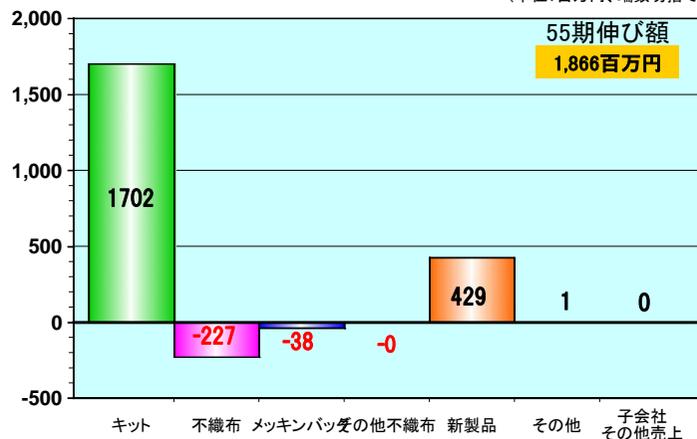
### オペラマスターの進捗状況

- 立ち上げ支援チームの効果**  
 注力病院にて短期間の立ち上げに成功  
 順次、他施設の支援を開始予定
- 安定的に契約を獲得**  
 医療機関の経営改善に対する意識の高まり  
 セミナー等によるオペラマスターの認知度上昇
- 医療機関における2極化が促進**  
 昨年の診療報酬改定により更なる2極化へ

## 第55期(2016年3月期) 売上高計画

### 第55期(2016年3月期) 主な製品の売上高増減額

(単位:百万円、端数切捨て)



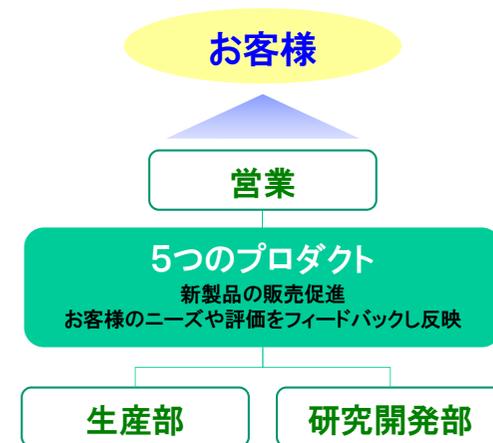
### 第55期(2016年3月期) 売上高計画

#### ■ オペラマスターを含むキット製品全体での増売

#### ■ 5つのプロダクト制度の導入

- 低侵襲 ⇒EMAROや新製品の販売促進、お客様の評価を製品に反映
- 医療安全 ⇒オペラマスター契約施設におけるキット立ち上げや  
キットリニューアル戦略、付加価値のあるキット材料の追求
- オペラマスター ⇒オペラマスター顧客満足の追求
- 病院経営管理システム⇒手術管理システムの販売促進やME機器管理、手術手順書  
を加えニーズに対応したシステムの進化
- 在宅・介護・予防 ⇒現在検討中

- **新製品販売計画** 手術管理システム2件(240百万円)、手順書4件(140百万円)、  
EMARO10台(100百万円)、ICTレーザー20台(70百万円)



## 業績の詳細

第54期(2015年3月期)  
損益計算書

第54期(2015年3月期)  
原価、販管費 分析

第54期(2015年3月期)  
営業外、設備投資、償却 分析



単位:百万円 切捨て	14.3 53期実績		15.3 54期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	34,793		35,233		440	101.3%
売上原価	17,046	49.0%	17,855	50.7%	809	104.7%
売上総利益	17,747	51.0%	17,378	49.3%	△368	97.9%
販売費及び一般管理費	8,999	25.9%	8,872	25.2%	△127	98.6%
営業利益	8,747	25.1%	8,505	24.1%	△241	97.2%
営業外損益	308		262		△45	
経常利益	9,055	26.0%	8,768	24.9%	△287	96.8%
特別損益	△170		△89		80	
当期純利益	5,632	16.2%	5,659	16.1%	26	100.5%
E P S	358.10円		359.81円			

**原価率:前年比 1.7%増加**

- ・ 海外取引の際の円安影響
- ・ 生産数量の増加
- ・ 生産体制の改善

**販管費:前年比 -127百万円**

- ・ 試験研究費 -112百万円
- ・ 消耗品費 -36百万円
- ・ 人件費 +33百万円

**営業外:262百万円(前年比:45百万円減)**

- ・ 為替差益:115百万円計上(前年為替差益:111百万円)

**設備投資:15,082百万円(前期比:7,908百万円増)**

- ・ 新工場:12,681百万円
- ・ その他: 2,401百万円

**償却:2,708百万円(前期比:156百万円減)**

- ・ 原価 : 1,757百万円(前年比:185百万円減)
- ・ 販管費 : 951百万円(前年比: 28百万円増)

# 第55期(2016年3月期)詳細計画



## 第55期(2016年3月期)損益計算書

## 第55期(2016年3月期) 利益 計画

単位:百万円 切捨て	15.3 54期実績		16.3 55期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	35,233		37,100		1,866	105.3%
売上原価	17,855	50.7%	19,760	53.3%	1,904	110.7%
売上総利益	17,378	49.3%	17,340	46.7%	△38	99.8%
販売費及び一般管理費	8,872	25.2%	9,050	24.4%	177	102.0%
営業利益	8,505	24.1%	8,290	22.4%	△215	97.5%
営業外損益	262		130		△132	
経常利益	8,768	24.9%	8,420	22.7%	△348	96.0%
特別損益	△89				89	
当期純利益	5,659	16.1%	5,500	14.8%	△159	97.2%
E P S	359.81円		349.68円			

### 原価率:前年比 2.6%増加

- ・新工場建屋取得による償却費の増加(下期より)
- ・海外取引による為替の影響
- ・生産数量増加による生産性の改善

### 販管費:前年比 +177百万円

- ・減価償却費 +117百万円
- ・広告宣伝費 +42百万円
- ・人件費 +23百万円

### 設備投資:8,300百万円(前期比:6,782百万円減)

新工場投資額:7,200百万円

### 償却:3,429百万円(前期比:720百万円増)

- ・原価 : 2,360百万円(前年比: 602百万円増)
- ・販管費 : 1,069百万円(前年比: 117百万円増)

### 配当金額:通期合計 116円(前期112円)

# 第54期(2015年3月期) 決算説明会

(2014年4月1日～2015年3月31日)

代表取締役社長	最高経営責任者(CEO)	保木 潤一
常務取締役	営業本部長	山本 幸雄
経営企画部	広報課	山下 洋

HOGY MEDICAL Co., Ltd.